

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限とします。(設定日: 2024年3月18日)
運用方針	主としてインドの金融商品取引所上場および店頭登録の小型株式に実質的に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	インド小型厳選 株式ファンド アムンディ・インド小型株マザーファンド受益証券
	アムンディ・ インド小型株 マザーファンド インドの金融商品取引所上場 および店頭登録の小型株式
組入制限	インド小型厳選 株式ファンド 株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。投資信託証券(マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。)への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。
	アムンディ・ インド小型株 マザーファンド 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。
分配方針	毎決算時(年1回、原則毎年12月15日。休業日の場合は翌営業日)に、原則として次の方針により分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

インド小型厳選株式ファンド

運用報告書(全体版)

第2期(決算日 2025年12月15日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

お客様サポートライン: 050-4561-2500

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
ホームページアドレス: <https://www.amundi.co.jp/>

< 5083680 · 5156316 >

■設定以来の運用実績

決算期 (分配落)	基準価額			参考指數	期中騰落率	株式組入比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	税込み分配金	税込分配額	期中騰落率					
(設定日) 2024年3月18日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	% —	百万円 21,571
1期(2024年12月16日)	11,901	0	19.0	13,143	31.4	96.4	—	95,210
2期(2025年12月15日)	10,760	0	△9.6	11,453	△12.9	92.9	—	59,879

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額(10,000円)とし、参考指数については設定日を10,000として指数化しています。純資産額は設定元本を表示しています。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」「投資信託証券組入比率」は実質組入比率を記載しています。以下同じ。

(参考指数について)

参考指数は、BSE 250 SmallCap インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

BSE 250 SmallCap Indexは、BSE Limited(以下「BSE」)の完全子会社であるBSE Index Services Pvt. Ltd. (以下「BISPL」)の製品であり、アムンディが使用を許諾されています。BSE®はBSEの登録商標であり、これらの商標はBISPLにより使用許諾され、アムンディにより一定の目的のためにサブライセンスされています。無断複写・転載を禁じます。BISPLの書面による許可なく、その全部または一部を再配布、複製および/または複写することを禁じます。BISPLのインデックスの詳細については、<https://www.bseindices.com/>をご参照ください。BISPL、BSE、その関連会社、およびそれらの第三者ライセンサーは、明示的または黙示的を問わず、いかなる指数についても、それが表示しようとする資産クラスまたは市場セクターを正確に表す能力について、何ら表明または保証を行うものではなく、また、BISPL、BSE、その関連会社、およびそれらの第三者ライセンサーは、いかなる指数またはそこに含まれるデータに関する過誤、遺漏、中断に対しても一切責任を負いません。以下同じ。

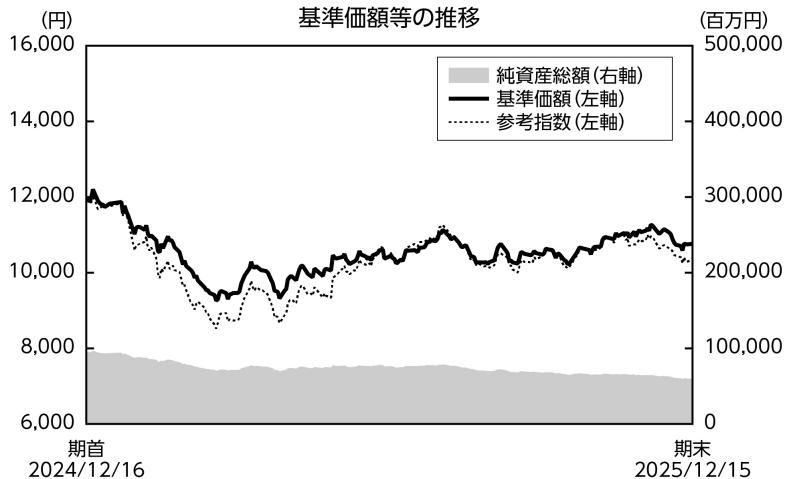
■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指數	騰落率	株式組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率				
(期首) 2024年12月16日	円 11,901	% —	13,143	% —	% 96.4	% —
12月末	11,824	△0.6	12,987	△1.2	95.5	—
2025年1月末	10,646	△10.5	11,078	△15.7	89.7	—
2月末	9,464	△20.5	9,709	△26.1	87.6	—
3月末	10,062	△15.5	10,520	△20.0	88.7	—
4月末	9,907	△16.8	10,431	△20.6	94.0	—
5月末	10,480	△11.9	11,341	△13.7	93.2	—
6月末	10,590	△11.0	11,856	△9.8	95.1	—
7月末	10,711	△10.0	11,780	△10.4	96.9	—
8月末	10,276	△13.7	11,138	△15.3	93.6	—
9月末	10,308	△13.4	11,212	△14.7	93.8	—
10月末	10,964	△7.9	12,108	△7.9	92.9	—
11月末	11,152	△6.3	11,851	△9.8	93.0	—
(期末) 2025年12月15日	10,760	△9.6	11,453	△12.9	92.9	—

(注) 謄落率は期首比です。

【基準価額等の推移】

第2期首	11,901円
第2期末	10,760円
既払分配金 (税込み)	0円
騰落率	△9.6%



(注1) 参照指標は、BSE 250 SmallCap インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

(注2) 参照指標は、2024年12月16日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドの基準価額は、前期末比で下落しました。

上昇要因

インド経済の回復力を裏付ける堅調なGDP（国内総生産）成長率、インド準備銀行（中央銀行）の支援的な金融政策（複数回の利下げと流動性対策）、CPI（消費者物価指数）上昇率の着実な低下、祝祭シーズンにおける消費者需要と企業収益、改革の進展（GST（物品・サービス税）の合理化、労働法改正）ならびに大手格付機関がインド国債の格付を引き上げたことで投資家の信頼感が強化されたこと等が上昇要因となりました。

下落要因

米国による関税率の引き上げや関税交渉の停滞が輸出関連（特にITおよび医薬品）セクターの重荷になったこと、パキスタンや中東での地政学的リスクにより石油市場および世界市場でボラティリティ（価格変動性）が上昇したこと、インド証券取引委員会が投機的な取引に対する規制を強化したことが市場心理に影響を与えたこと、海外機関投資家による年初から年半ばにかけての資金流出、銀行およびITセクターの第1四半期決算が予想を下回ったこと等が下落要因となりました。

【投資環境】

投資環境につきましては、アムンディ・インド小型株マザーファンドの運用報告書（後述）をご覧ください。

【ポートフォリオ】

＜当ファンド＞

アムンディ・インド小型株マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの金融商品取引所上場および店頭登録の小型株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。期中のマザーファンドの組入比率は高位を維持しました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

＜アムンディ・インド小型株マザーファンド＞

マザーファンドのポートフォリオにつきましては、アムンディ・インド小型株マザーファンドの運用報告書（後述）をご覧ください。

【分配金】

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきました（分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

【今後の運用方針】

＜当ファンド＞

引き続き、アムンディ・インド小型株マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの金融商品取引所上場および店頭登録の小型株式に実質的に投資を行うことにより、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。マザーファンドの組入比率は原則として高位を維持します。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

＜アムンディ・インド小型株マザーファンド＞

マザーファンドの今後の運用方針につきましては、アムンディ・インド小型株マザーファンドの運用報告書（後述）をご覧ください。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第2期 (2024年12月17日 ～2025年12月15日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社)	194円 (110)	1.843% (1.042)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(81)	(0.768)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式)	7 (7)	0.064 (0.064)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式)	7 (7)	0.064 (0.064)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他の費用 (保管費用)	168 (12)	1.598 (0.114)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(0)	(0.001)	ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用
(その他)	(156)	(1.477)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	376	3.569	

期中の平均基準価額は10,532円です。

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

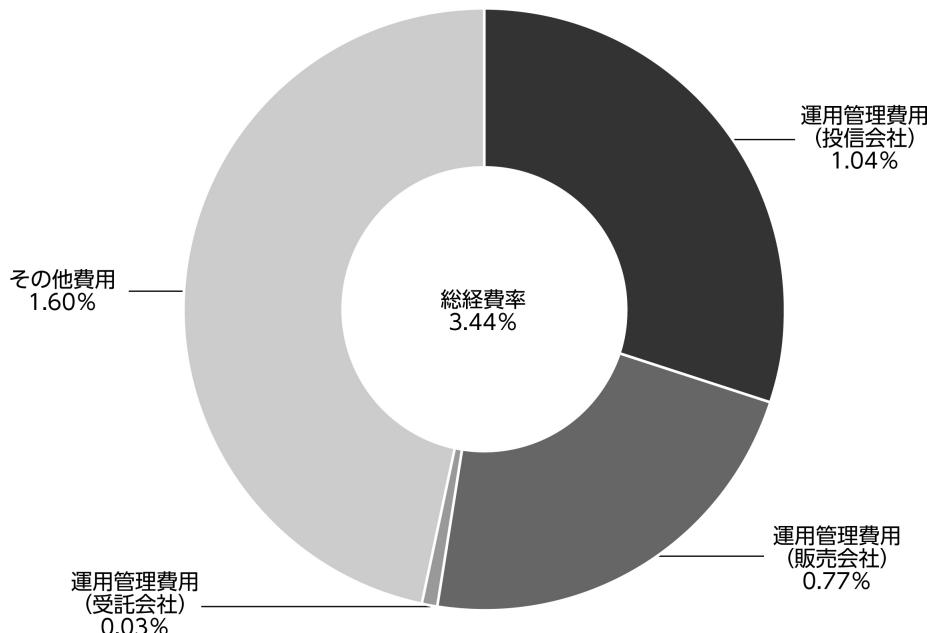
(注5) (d)その他費用の「(その他)」には、非居住者のインド株式投資の売買益に係るキャピタルゲイン課税（キャピタルゲイン課税の引当金も含む）を含みます。

(注6) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.44%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応する費用を含みます。

(注5) その他費用には、非居住者のインド株式投資の売買益に係るキャピタルゲイン課税（キャピタルゲイン課税の引当金も含む）を含みます。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2024年12月17日から2025年12月15日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アムンディ・インド小型株マザーファンド	千口	千円	千口	千円
—	—	—	26,221,520	27,025,000

(注) 単位未満は切捨てです。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アムンディ・インド小型株マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	54,209,237千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	68,867,652千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)/(b)	0.78

(注1) 単位未満は切捨てです。

(注2) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等（2024年12月17日から2025年12月15日まで）

期中の利害関係人との取引状況

<インド小型厳選株式ファンド>

該当事項はありません。

<アムンディ・インド小型株マザーファンド>

区 分	当 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	<u>B</u> <u>A</u>	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	<u>D</u> <u>C</u>
為替直物取引	百万円 60,386	百万円 —	% —	百万円 86,189	百万円 1,028	% 1.2

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合です。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、クレディ・アグリコル銀行です。

■組入資産の明細（2025年12月15日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
アムンディ・インド小型株マザーファンド	千口 83,183,471	千口 56,961,951	千円 59,827,137

(注1) 単位未満は切捨てです。

(注2) アムンディ・インド小型株マザーファンド全体の受益権口数は、当期末56,961,951千口です。

■投資信託財産の構成 (2025年12月15日現在)

項 目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
アムンディ・インド小型株マザーファンド	59,827,137	97.6
コール・ローン等、その他	1,500,591	2.4
投資信託財産総額	61,327,728	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) アムンディ・インド小型株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(60,334,846千円)の投資信託財産総額(60,625,211千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信充買相場の仲値により邦貨換算したもので

なお、2025年12月15日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=156.02円、1インドルピー=1.74円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年12月15日現在)

項 目	当期末
(A) 資産	61,327,728,270円
コール・ローン等	800,583,245
アムンディ・インド小型株マザーファンド(評価額)	59,827,137,349
未収入金	700,000,000
未収利息	7,676
(B) 負債	1,447,878,001
未払解約金	807,223,933
未払信託報酬	638,121,800
その他未払費用	2,532,268
(C) 純資産総額(A-B)	59,879,850,269
元本	55,648,063,847
次期繰越損益金	4,231,786,422
(D) 受益権総口数	55,648,063,847口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,760円

(注記事項)

期首元本額

79,998,811,997円

期中追加設定元本額

3,290,875,599円

期中一部解約元本額

27,641,623,749円

■損益の状況

当期 (自2024年12月17日 至2025年12月15日)

項 目	当期
(A) 配当等収益	1,956,786円
受取利息	1,956,786
(B) 有価証券売買損益	△4,685,564,961
売買益	2,632,177,849
売買損	△7,317,742,810
(C) 信託報酬等	△1,375,073,348
(D) 当期損益金(A+B+C)	△6,058,681,523
(E) 前期繰越損益金	6,985,703,235
(F) 追加信託差損益金	3,304,764,710
(配当等相当額)	(348,931,400)
(売買損益相当額)	(2,955,833,310)
(G) 計(D+E+F)	4,231,786,422
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	4,231,786,422
追加信託差損益金	3,304,764,710
(配当等相当額)	(356,129,275)
(売買損益相当額)	(2,948,635,435)
分配準備積立金	7,913,956,354
繰越損益金	△6,986,934,642

(注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきました。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

【分配原資の内訳】

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項目	第2期
	(2024年12月17日～2025年12月15日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— (-%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,486

(注1)「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2)「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

《お知らせ》

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、2025年4月1日付けて投資信託約款に所要の変更を行いました。

アムンディ・インド小型株マザーファンド

運用報告書

『第2期』

決算日：2025年12月15日

(計算期間：2024年12月17日～2025年12月15日)

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに期中の運用状況についてご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてインドの金融商品取引所上場および店頭登録の小型株式に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	インドの金融商品取引所上場および店頭登録の小型株式
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	参考指標	株式組入比	純 資 産 額	
				期 謄 落 率	中 謄 落 率
(設 定 日) 2023年12月20日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —
1 期 (2024年12月16日)	11,427	14.3	13,678	36.8	96.5
2 期 (2025年12月15日)	10,503	△ 8.1	11,919	△12.9	93.0
					59,828

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額(10,000円)とし、参考指数については設定日を10,000として指数化しています。純資産総額は設定元本を表示しています。

(参考指数について)

参考指数は、BSE 250 SmallCap インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

BSE 250 SmallCap Indexは、BSE Limited（以下「BSE」）の完全子会社であるBSE Index Services Pvt. Ltd.（以下「BISPL」）の製品であり、アムンディが使用を許諾されています。BSE®はBSEの登録商標であり、これらの商標はBISPLにより使用許諾され、アムンディにより一定の目的のためにサブライセンスされています。無断複写・転載を禁じます。BISPLの画面による許可なく、その全部または一部を再配布、複製および／または複写することを禁じます。BISPLのインデックスの詳細については、<https://www.bseindices.com/>をご参照ください。BISPL、BSE、その関連会社、およびそれらの第三者ライセンサーは、明示的または黙示的に問わず、いかなる指標についても、それが表示しようとする資産クラスまたは市場セクターを正確に表す能力について、何ら表明または保証を行うものではなく、また、BISPL、BSE、その関連会社、およびそれらの第三者ライセンサーは、いかなる指標またはそこに含まれるデータに関する過誤、遗漏、中断に対しても一切責任を負いません。以下同じ。

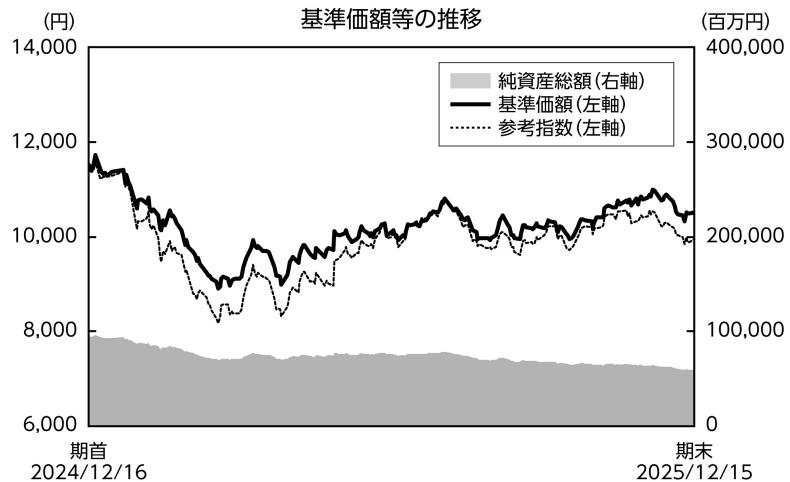
■当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	参考指標	株 式 組 入		
			騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2024年12月16日	円 11,427	% —	13,678	% —	% 96.5
12月末	11,361	△ 0.6	13,516	△ 1.2	95.9
2025年1月末	10,240	△10.4	11,529	△15.7	90.1
2月末	9,109	△20.3	10,104	△26.1	88.1
3月末	9,702	△15.1	10,948	△20.0	89.1
4月末	9,565	△16.3	10,856	△20.6	94.2
5月末	10,134	△11.3	11,802	△13.7	93.5
6月末	10,256	△10.2	12,339	△ 9.8	95.3
7月末	10,388	△ 9.1	12,259	△10.4	97.0
8月末	9,979	△12.7	11,592	△15.3	93.7
9月末	10,025	△12.3	11,668	△14.7	94.0
10月末	10,681	△ 6.5	12,601	△ 7.9	93.1
11月末	10,878	△ 4.8	12,333	△ 9.8	93.3
(期 末) 2025年12月15日	10,503	△ 8.1	11,919	△12.9	93.0

(注) 謄落率は期首比です。

【基準価額等の推移】

第2期首	11,427円
第2期末	10,503円
騰落率	△8.1%



(注1) 参照指標は、BSE 250 SmallCap インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

(注2) 参照指標は、2024年12月16日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドの基準価額は、前期末比で下落しました。

上昇要因

インド経済の回復力を裏付ける堅調なGDP（国内総生産）成長率、インド準備銀行（中央銀行）の支援的な金融政策（複数回の利下げと流動性対策）、CPI（消費者物価指数）上昇率の着実な低下、祝祭シーズンにおける消費者需要と企業収益、改革の進展（GST（物品・サービス税）の合理化、労働法改正）ならびに大手格付機関がインド国債の格付を引き上げたことで投資家の信頼感が強化されたこと等が上昇要因となりました。

下落要因

米国による関税率の引き上げや関税交渉の停滞が輸出関連（特にITおよび医薬品）セクターの重荷になったこと、パキスタンや中東での地政学的リスクにより石油市場および世界市場でボラティリティ（価格変動性）が上昇したこと、インド証券取引委員会が投機的な取引に対する規制を強化したことが市場心理に影響を与えたこと、海外機関投資家による年初から年半ばにかけての資金流出、銀行およびITセクターの第1四半期決算が予想を下回ったこと等が下落要因となりました。

【投資環境】

<インド株式市場>

当期中にインド株式市場は現地通貨ベースでやや上昇しました。セクター別にみるとコミュニケーション・サービス、エネルギー、金融、素材等が堅調に推移した一方で、不動産、情報技術、公益事業等は振るいませんでした。

当期中、インド経済は世界的な不確実性の中で回復力を示しました。2024年度（2024年4月－2025年3月）のGDP（国内総生産）成長率は、政府支出、農村部の改善、インフレの緩和に支えられました。CPI（消費者物価指数）上昇率は、食品価格の下落とGST（物品・サービス税）の合理化により低下が続き、10月には過去最低水準となりました。インド準備銀行（中央銀行）は緩和的な金融政策スタンスを採用し、期中に複数回の利下げを実施するとともに、法定準備率の引き下げや公開市場操作を通じて流動性を供給しました。企業収益はまちまちで、銀行・金融サービス・保険および資本財セクターは好調でしたが、コモディティ関連セクターは出遅れました。関税関連の逆風や地政学的リスクがある中、株式バリュエーションの水準は修正が進みました。世界的な貿易摩擦や対外不均衡により短期的なボラティリティ（価格変動性）は継続ましたが、国内のファンダメンタルズ（基礎的条件）、緩和的な金融政策、財政支援が市場の回復力を支えました。

<為替市場>

当期のインドルピー／円相場は値動きをともないつつも期を通じて下落しました。期初1.8円台近辺で始まり、3月半ばにかけては、地政学的リスクを意識した円買いや、米国での追加利下げへの思惑などから緩やかな円高基調が続きました。2025年3月に入り一時インドルピーが上昇する場面もみられましたが、4月初めに発表された米政府による追加の相互関税案が予想以上の規模だったため、世界景気の混乱・低迷を懸念する動きから安全資産の円が買われました。しかし、混乱回避のため追加関税の上乗せ部分の発行を猶予するとの発表があったことや、米財務長官の発言を背景に再びインドルピー高・円安に転じました。その後は10月にかけてボックス圏での推移となりました。9月に石破氏が退陣を表明し、自民党総裁選で高市氏が勝利すると財政規律の弛緩を懸念した市場では円が嫌気され、インドルピーは対円で上昇しました。その後も円が弱含む傾向が続き、11月ごろまでインドルピーの上昇基調が継続しました。11月半ばには、高市政権による積極的な財政政策への懸念から円が一段と弱含む場面もみられましたが、当期末にかけてはやや値を戻しインドルピー／円相場は1.7円台半ばで当期を終えました。

【ポートフォリオ】

当期末現在、当ファンドは一般消費財・サービス、素材および生活必需品等をオーバーウェイト、一方でヘルスケア、金融および資本財・サービス等をアンダーウェイトとしています。セクターのアクティブ・ウェイトは銘柄選択の結果であり、セクターに対する見解を示すものではありません。当ファンドは当期中に素材、一般消費財・サービス、情報技術等のウェイトを引き上げました。一方、ヘルスケア、生活必需品、金融、公益事業のウェイトを引き下げました。パフォーマンスに対して、一般消費財・サービスおよびヘルスケアの銘柄選択、資本財・サービスおよび情報技術のアンダーウェイトと生活必需品のオーバーウェイトによるセクター配分等が、パフォーマンスにプラスに寄与しました。一方で、一般消費財・サービスのオーバーウェイトや金融のアンダーウェイトなどのセクター配分と、生活必需品や金融の銘柄選択等がパフォーマンスの重しとなりました。

(SBIファンズ・マネジメント・リミテッド)

【今後の運用方針】

引き続き、主としてインドの金融商品取引所上場および店頭登録の小型株式に投資を行うことにより、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

インド株式市場は、マクロ経済のファンダメンタルズが良好であるにもかかわらず、概して他の新興国市場をアンダーパフォームしています。特に小型株は、割高なバリュエーションと、その裏付けとなる収益成長への懸念から、インド株式市場全体をアンダーパフォームしています。当ファンドでは、株価調整を経て、バリュエーションの過熱感の大部分は解消されつつあり、業種を問わず妥当なバリュエーション水準で質の高い投資対象銘柄をみつけられる機会が増えるとみています。当ファンドの小型株戦略は、今後も従来のボトムアップ型の銘柄選択アプローチを継続し、企業固有のファンダメンタルズを重視してまいります。セクターのウェイト配分は、主に個別銘柄選択によって決定されます。当ファンドは、強固なファンダメンタルズ、優れた経営陣、持続可能な成長見通しを備えた企業を、妥当なバリュエーションで購入することに焦点を当てております。

(SBIファンズ・マネジメント・リミテッド)

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第2期 (2024年12月17日 ～2025年12月15日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	7円 (7)	0.064% (0.064)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	7 (7)	0.065 (0.065)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	163 (12)	1.596 (0.115)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(151)	(1.481)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	177	1.725	

期中の平均基準価額は10,193円です。

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

(注3) (c)その他費用の「(その他)」には、非居住者のインド株式投資の売買益に係るキャピタルゲイン課税（キャピタルゲイン課税の引当金も含む）を含みます。

■売買及び取引の状況（2024年12月17日から2025年12月15日まで）

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	イ ン ド ラ	百株 160,921 (23,428)	千インドルピー 7,996,211 (217,673)	百株 477,389 (908)	千インドルピー 23,435,265 (90,448)

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 単位未満は切捨てです。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	54,209,237千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	68,867,652千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.78

(注1) 単位未満は切捨てです。

(注2) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注3) 金額は、外貨建金額を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

■主要な売買銘柄（2024年12月17日から2025年12月15日まで）

株式

買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
KINGFA SCIENCE & TECHNOLOGY(インド)	千株 273	千円 1,605,498	円 5,864	JUPITER LIFE LINE HOSPITALS(インド)	千株 970	千円 2,498,718	円 2,573
BAJAJ FINSERV LTD(インド)	490	1,543,865	3,150	KRISHNA INSTITUTE OF MEDICAL(インド)	2,136	2,333,731	1,092
ATHER ENERGY LTD(インド)	2,803	1,512,004	539	BALRAMPUR CHINI MILLS LTD(インド)	2,700	2,322,561	860
HONEYWELL AUTOMATION INDIA(インド)	17	1,023,529	58,155	NEOGEN CHEMICALS LTD(インド)	696	1,993,046	2,863
DEEPAK FERTILISERS & PETRO(インド)	484	892,701	1,844	CITY UNION BANK LTD(インド)	7,000	1,939,259	277
LENSKART SOLUTIONS LTD(インド)	1,194	839,997	703	CCL PRODUCTS INDIA LTD(インド)	1,078	1,621,405	1,502
SAMVARDHANA MOTHERSON INTERN(インド)	3,700	834,669	225	THANGA MAYIL JEWELLERY LTD(インド)	283	1,620,426	5,706
BRAINBEES SOLUTIONS LTD(インド)	1,342	809,139	602	BAJAJ FINSERV LTD(インド)	490	1,595,453	3,256
HDFC BANK LIMITED(インド)	250	792,142	3,168	SANSERA ENGINEERING LTD(インド)	651	1,562,523	2,397
AETHER INDUSTRIES LTD(インド)	600	741,081	1,235	PAGE INDUSTRIES LTD(インド)	21	1,555,461	74,069

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 金額の単位未満は切捨てです。

(注3) 金額は、外貨額を約定日の属する月の月末（決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。

■利害関係人との取引状況等（2024年12月17日から2025年12月15日まで）

期中の利害関係人との取引状況

区分	当期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	<u>B</u> <u>A</u>	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	<u>D</u> <u>C</u>
為替直物取引	百万円 60,386	百万円 —	% —	百万円 86,189	百万円 1,028	% 1.2

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、クレディ・アグリコル銀行です。

■組入資産の明細（2025年12月15日現在）

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(インド・・・ボンベイ市場) HAWKINS COOKERS LTD	百株 1,394	百株 1,394	千インドルピー 1,190,491	千円 2,071,456	耐久消費財・アパレル	
(インド・・・インド国立証券市場) ARVIND LTD	21,000	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
SHREE CEMENT LTD	270	—	—	—	素材	
GARWARE TECHNICAL FIBRES LTD	777	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
WHIRLPOOL OF INDIA LTD	5,256	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
CITY UNION BANK LTD	70,000	—	—	—	銀行	
DEEPAK FERTILISERS & PETRO	—	4,840	598,444	1,041,293	素材	
GANESHA ECOSPHERE LTD	2,900	2,900	253,460	441,020	耐久消費財・アパレル	
KINGFA SCIENCE & TECHNOLOGY	—	2,737	1,054,937	1,835,590	素材	

銘柄	期首(前期末)	当期末				業種等	
		株数	株数	評価額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
SAMVARDHANA MOTHERSON INTERN	百株	百株	千インドルピー	千円			
HONEYWELL AUTOMATION INDIA	—	55,500	673,215	1,171,394		自動車・自動車部品	
KALPATARU PROJECTS INTERNATI	94	270	915,165	1,592,387		テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
BALRAMPUR CHINI MILLS LTD	6,942	6,942	814,164	1,416,646		資本財	
EID PARRY INDIA LTD	27,000	—	—	—		食品・飲料・タバコ	
GUJARAT STATE PETRONET LTD	14,000	11,000	1,138,940	1,981,755		素材	
THERMAX LTD	25,000	—	—	—		公益事業	
TORRENT POWER LTD	—	659	189,176	329,167		資本財	
GOKALDAS EXPORTS LTD	7,318	7,318	944,696	1,643,771		公益事業	
PAGE INDUSTRIES LTD	17,300	14,000	1,188,460	2,067,920		耐久消費財・アパレル	
ZF COMMERCIAL VEHICLE CONTRO	210	—	—	—		耐久消費財・アパレル	
HATSUN AGRO PRODUCT LTD	800	700	988,540	1,720,059		自動車・自動車部品	
THANGA MAYIL JEWELLERY LTD	15,000	15,000	1,529,100	2,660,634		食品・飲料・タバコ	
CARBORUNDUM UNIVERSAL LTD	6,815	4,884	1,561,529	2,717,061		一般消費財・サービス流通・小売り	
WESTLIFE FOODWORLD LTD	13,000	13,000	1,136,980	1,978,345		素材	
V-GUARD INDUSTRIES LTD	14,000	14,000	770,910	1,341,383		消費者サービス	
AAVAS FINANCIERS LTD	21,000	—	—	—		資本財	
CCL PRODUCTS INDIA LTD	3,000	—	—	—		金融サービス	
KNR CONSTRUCTIONS LTD	18,900	8,110	831,608	1,446,998		食品・飲料・タバコ	
NAVIN FLUORINE INTERNATIONAL	16,846	—	—	—		資本財	
RELAXO FOOTWEARS LTD	2,700	2,100	1,285,725	2,237,161		素材	
NEOGEN CHEMICALS LTD	1,752	1,752	70,979	123,504		耐久消費財・アパレル	
APUTS VALUE HOUSING FINANCE	6,960	—	—	—		素材	
WONDERLA HOLIDAYS LTD	50,000	37,000	1,081,695	1,882,149		金融サービス	
HAPPIEST MINDS TECHNOLOGIES	13,924	13,924	756,911	1,317,025		消費者サービス	
CHEMPLAST SANMAR LTD	—	140	6,893	11,995		ソフトウェア・サービス	
KPR MILL LTD	21,000	21,000	548,940	955,155		素材	
TTK PRESTIGE LTD	19,000	11,000	1,071,290	1,864,044		耐久消費財・アパレル	
GO FASHION INDIA LTD	12,044	7,948	509,137	885,898		耐久消費財・アパレル	
FINOLEX INDUSTRIES LTD	9,000	8,719	411,379	715,800		一般消費財・サービス流通・小売り	
CAMPUS ACTIVEWEAR LTD	24,788	24,788	410,479	714,234		素材	
AETHER INDUSTRIES LTD	19,000	—	—	—		耐久消費財・アパレル	
AJAX ENGINEERING LTD	7,000	13,000	1,124,240	1,956,177		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SONA BLW PRECISION FORGINGS	—	4,451	268,033	466,378		資本財	
JUBILANT FOODWORKS LTD	11,395	11,395	561,204	976,496		自動車・自動車部品	
G R INFRAPROJECTS LTD	10,010	—	—	—		消費者サービス	
VEDANT FASHIONS LTD	5,100	4,701	482,420	839,412		資本財	
SANSERA ENGINEERING LTD	3,968	3,968	236,688	411,838		耐久消費財・アパレル	
LE TRAVENUES TECHNOLOGY LTD	14,217	7,700	1,308,384	2,276,588		自動車・自動車部品	
GO DIGIT GENERAL INSURANCE L	59,000	43,000	1,101,015	1,915,766		消費者サービス	
SBFC FINANCE LTD	166	—	—	—		保険	
KRISHNA INSTITUTE OF MEDICAL	130,000	70,000	737,310	1,282,919		金融サービス	
INDEGENE LTD	21,365	—	—	—		ヘルスケア機器・サービス	
LENSKART SOLUTIONS LTD	911	—	—	—		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
JUPITER LIFE LINE HOSPITALS	—	11,940	484,715	843,404		一般消費財・サービス流通・小売り	
HAPPY FORGINGS LTD	9,709	—	—	—		ヘルスケア機器・サービス	
	9,000	9,000	964,890	1,678,908		資本財	

銘柄	期首(前期末)	当期末				業種等	
		株数	株数	評価額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
STANLEY LIFESTYLES LTD	百株 20,278	百株 17,459	千インドルピー 391,998	千円 682,077	耐久消費財・アパレル		
VISHAL MEGA MART LTD	64,102	—	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り		
ATHER ENERGY LTD	—	19,000	1,225,690	2,132,700	自動車・自動車部品		
BRAINBEES SOLUTIONS LTD	—	13,421	389,959	678,529	一般消費財・サービス流通・小売り		
MEESHO LTD	—	27,028	446,265	776,501	一般消費財・サービス流通・小売り		
PINE LABS LTD	—	13,574	321,914	560,131	金融サービス		
合計	株数・金額 銘柄数×比率>	855,222 50	561,274 42	31,977,981 —	55,641,688 <93.0%>		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 単位未満は切捨てです。

(注4) 一印は組入れなしです。

■投資信託財産の構成 (2025年12月15日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 55,641,688	% 91.8
コール・ローン等、その他	4,983,523	8.2
投資信託財産総額	60,625,211	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建純資産(60,334,846千円)の投資信託財産総額(60,625,211千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年12月15日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=156.02円、1インドルピー=1.74円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年12月15日現在)

項目	当期末
(A) 資産	62,185,101,252円
コール・ローン等	4,971,070,742
株式(評価額)	55,641,688,224
未収入金	1,571,768,208
未収利息	1,801
その他未収収益	572,277
(B) 負債	2,356,476,835
未払資金	1,559,890,000
未払解約金	700,000,000
外国税引当金	96,586,835
(C) 純資産総額(A-B)	59,828,624,417
元本	56,961,951,204
次期繰越損益金	2,866,673,213
(D) 受益権総口数	56,961,951,204口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,503円

(注記事項)

期首元本額	83,183,471,220円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	26,221,520,016円

(当期末元本の内訳)

インド小型厳選株式ファンド	56,961,951,204円
---------------	-----------------

※外国税引当金は将来発生する可能性のあるキャピタルゲイン課税の支払に備えるため、支払見込額を計上しております。

《お知らせ》

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、2025年4月1日付けで投資信託約款に所要の変更を行いました。

■損益の状況

当期 (自2024年12月17日 至2025年12月15日)

項目	当期
(A) 配当等収益	2,806,347,670円
受取配当金	233,035,659
受取利息	174,354,528
その他収益金	2,398,957,483
(B) 有価証券売買損益	△9,781,173,471
売買益	9,391,521,803
売買損	△19,172,695,274
(C) その他費用等	△1,221,381,629
(D) 当期損益金(A+B+C)	△8,196,207,430
(E) 前期繰越損益金	11,866,360,627
(F) 解約差損益金	△803,479,984
(G) 計(D+E+F)	2,866,673,213
次期繰越損益金(G)	2,866,673,213

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。